

備前市事務事業評価表

事務事業名	私立保育園運営費補助事業		コード	担当課	福祉事務所児童福祉係
事業実施期間	S49~		02-01-01-04	担当者	小橋
総合計画事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり	電話	64-1825	
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	子育て支援			
	施策	私立保育園の健全運営への助成			

事業について	
目的	私立保育園の保育内容の充実向上等を図り、児童福祉の増進に寄与するため。
対象(誰のために)	私立保育園 ・新築、増改築、災害復旧、大規模改修を行った場合。 ・職員の給与改善等に要する経費、定員減により著しく運営に支障をきたし経営困難な場合が生じた場合。
内容	施設整備費及び運営費に係る補助を行う。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
施設整備費補助	整備件数	0	
運営費補助	年間平均入所者数	13	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	間接事業費	国庫補助金等	市債	直接事業費	間接事業費	国庫補助金等	市債	直接事業費	間接事業費	国庫補助金等	市債
	647	1,020										
			受益者負担	市債			受益者負担	市債				
	合計	1,667	一般財源等	1,667	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0
必要人員	0.10		人				人				人	
結果指標①	結果指標名	整備件数										
	結果指標量	0										
	単位	件										
	対前年比	-										
	事業費	円			円		円		円		円	
	単位当たりコスト①	円			円		円		円		円	
結果指標②	結果指標名	年間平均入所者数										
	結果指標量	13										
	単位	人										
	対前年比	-					0.00%					
	事業費	1,667,000			円		円		円		円	
	単位当たりコスト②	128,231			円		円		円		円	

事業の成果		
成果指標名	入園者数	式又は説明
	17年度	
成果指標量	13人	
対前年比	-	#VALUE!
到達目標値	20人	到達目標年度 毎年

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	コメント	評価区分
	厳しい経営状態が続き市への依存度も高くなっているが、公私の格差を是正するため、事業は継続する必要がある。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	0件	結果指標量②	20人
目標値 成果指標量	70%		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	保育園児の確保	長期	健全な経営による保育内容の充実

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識
公立保育園のない地区で就学前の乳幼児をもつ住民にとっては必要な事業であるが、園児数は減少傾向にあり経営は困難になりつつあるため、市への依存度が高くなっている。

適正な経営に必要な園児を確保する必要がある。

公立保育園との格差を是正し、保育内容を充実させることができる。